

くらしを支え、環境を守る
下水道の話あれこれ

下水道課 ☎66・1140

みなんで大切に正しく、下水道を使いましょう。

○家庭で台所の流しに廃食用油や生ごみ、トイレに紙おむつや溶けにくい紙などを流さないでください。

○灯油やシンナーなどは爆発のおそれがあり危険です。絶対に流さないでください。○飲食店では、グリーストラップの設置と定期的な点検・清掃を行きましょう。

★悪質な下水道点検商法にご注意を！

突然訪ねて来て、強引に契約を迫り、高額な請求をしようとする悪質業者の訪問を受けたら、きっぱりと断りましょう。不審業者の相談は下水道課または警察署へ。

手当を振り込みます

福祉課 ☎66・1106

市障害者扶助料の12月期支払分(8月～11月分)を12月20日(金)以降に受給者指定の金融機関に振り込みます。確認してお受け取りください。

「愛腎協カード・バッジ」をご利用ですか

福祉課 ☎66・1106

愛知県腎臓病協議会(愛腎協)は、災害時や平時の救急活動に、透析患者と一般の人との見分けができるよう、会員に専用カード(会員証)とバッジを発行しました。

県内の透析患者は、約1万7千人で、うちカードやバッジを所持している会員は約8千300人です。透析患者は合併症を有しているため、平時でも先路上などで倒れることもあります。また、災害時には、健常者と同じの食事をとれません。

緊急時、専用のバッジやカードで透析患者であることが確認できた場合は、情報提供などの対応をお願いします。

問合先 (一社)愛知県腎臓病

協議会 ☎052・682・0206



資源ステーション3色かご攻略！ ～迷ったら黄色のかご～

資源ステーションで、「赤と茶と黄の3色のかごの違いがよく分からない！」という方、多いのではないのでしょうか。大掃除で出たごみも、きちんと分別して正しい処分をしましょう！

- ◆赤色かご(埋めるごみ)主にひとつの素材からできているもの。陶磁器、ガラス、植木鉢、電球・蛍光灯など
※電球・蛍光灯は紙ケースに入れて出しましょう。
- ◆茶色かご(金属類)素材のほとんどが金属でできているもの。鍋、やかん、フライパン、包丁、お菓子缶など
※刃物は新聞紙などでくるみ、刃物と分かるように記入をしましょう。
- ◆黄色かご(破碎ごみ)いくつかの素材からできているもの。傘、小型家電、プラスチック製品、飲み物の金属キャップなど
※家電類は電池を抜き、コードは切らずに束ねて出しましょう。

【これを覚えましょう】

★迷ったら黄色かご

黄色かごに入れられたごみは、クリーンセンターに運ばれたあと、中身を人の手で選別しています。この段階で分別が間違っているものは選別しますので、看板などを見てもどうしても分からない場合は、黄色かごに入れていただいてもかまいません。

★大きいものはステーションには出せません

ステーションには、30cm以上のものは出せません。(ただし傘とハンガーだけは例外) 30cmより大きいものは、直接クリーンセンターに搬入するか、粗大ごみ収集シール(11月号掲載)を利用しましょう。粗大ごみ搬入のための軽トラック貸し出しも行っていきます。(予約制)

看板の配布を行っています！

ステーションにつけるためのラミネート製看板を配布しています。お手数ですが、設置は地域でお願いいたします。内容などについてはクリーンセンターにご相談ください。



環境清掃課 ☎57・4100